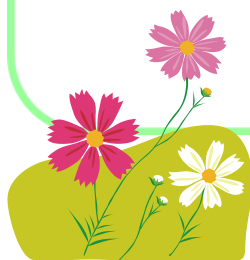


芝浦幼稚園だより

9月号

平成 26 年 9 月 1 日
港区立芝浦幼稚園
園長 木村英美



絶対に見せてほしくない大人の行動

園長 木村英美

夏休みいかがお過ごしでしたか。台風や豪雨の被害のニュースを見聞きするたび、ご家族やご親戚の皆様が元気に過ごしているかしら、大丈夫だったかしらと思いをはせました。また、幼稚園と家庭の生活やリズムの違いからいろいろ感じたり、子育ての喜びを味わったりされたのではないのでしょうか。

さあ、2学期が始まります。ご家庭の夏休み色に染まった子供たちが園生活のペースを取り戻し、先生や友達と元気いっぱい遊びだせるようにと願って始業式を迎えました。

学校や幼稚園がいくら世の中のモラルや友達の大切さを力説しても、親も一緒になって行動してくれなければその効果は期待できません。子供の前で、絶対に見せてほしくない大人の行動をあげるとすれば、

○信号無視や二人乗りなどの交通ルール・マナー違反 ○電車や公共機関・施設でのモラルや思いやりに欠ける振る舞い ○ところかまわずの携帯電話の使用や集会時の私語○有害図書などの家庭への放置 ○飲酒による醜態 ○吸殻やごみのポイ捨てなどです。

言葉の乱れは、特に深刻です。テレビでの暴言やメールの普及も原因のひとつですが、最大の要因は、大人たちの日常会話の乱れに一層拍車がかかっていることのように感じています。状況や立場をわきまえて言葉を使い分けできるようにすることは、家庭教育でも大事なことです。子供の言葉の悪さは、乳幼児期に受けた言語環境に起因すると考えられています。「言い訳、反発が多い」「何かにつけて悪口をもらす」「不平不満が会話の中心」「表情やしぐさに嫌味がある」そんな子供たちが増えているように感じます。周囲は、嫌気がさしてその子供の周りを去っていきます。そうするとさらに孤独感を感じ、余計に悪口が増えると言う悪循環に陥ります。家庭での会話が肯定的なものか、否定的なものかを一度冷静にチェックしてみると良いかもしれません。子供は知らず知らずのうちに幼児期から親の姿を見て身につけていくのですから。

「子育てって難しい」ですね。でも、親として子供の未来の幸せを願って悩み、精一杯親として振る姿を子供が見ていることそのものが、子育てになっているのではないのでしょうか。かけがえのない子供の存在を感じ、成長していく喜びを存分に味わわせてもらえるのが乳幼児期です。子供には、子供時代をたっぷりと味あわせてあげることが「子育てって楽しい」につながっています。

